

## 上田電鉄別所線全線開通・利用客の確保が課題



(令和2年9月議会：書面による質問と答弁書より)

(久保田市議)

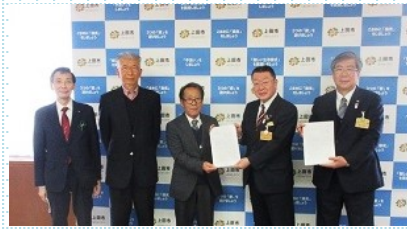
上田電鉄別所線は令和3年3月28日全線で運行を再開することのだが、乗客数を災害前に戻すためにどのような取り組みを進めていくか。

(答弁書) 別所線の輸送人員は、近年、130万人前後で推移しているが、令和元年度の実績は、台風19号災害により約111万6千人。

「長期的な運行の確保に関する計画」では、全国の鉄道事業者の傾向も踏まえ、約119万人と推計した。今後の取組は、車通勤に変更された方を別所線利用に呼び戻す取組や自治会回数券の販売促進、利用促進イベントの実施、キャッシュレス決済導入の検討も進めています。

そして、善光寺及び北向観音の御開帳、東京オリンピック・パラリンピックを契機とする観光誘客・インバウンド施策、「上田市日本遺産推進協議会」による取組を大きなチャンスとして活かしながら、市民、関係団体、事業者との連携により輸送人員の回復を図っていきます。

## 西内小学校のあり方検討委員会報告書を提出



上田市役所で西内小学校あり方検討委員会の報告書を土屋陽一市長、峯村秀則教育長に提出、懇談しました。

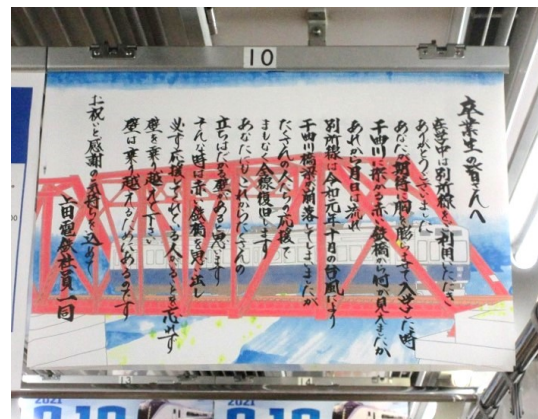
西内小学校あり方検討委員会は、上田市教育委員会が設置した「小中学校のあり方検討委員会」での協議(信毎令和元年7月24日報道)をきっかけに、一昨年9月27日に設置しました。

西内小学校あり方検討委員会は、自治会長や丸子地域自治センター関係者、西内小学校の関係者など11人の委員で構成して協議をすすめ、分野別のアンケート調査も行いました。この度、報告書がまとまったので、市長及び教育長に提出したものです。

教育長からは「上田市小中学校のあり方に関する基本方針(案)についてパブリックコメントが終了し、公表できる段階となっている。今後は、市の教育委員会で基本方針の内容をしっかりと確認したい。その上で、上田市総合教育会議において、さらに具体的な方針を検討していくことになる。」とのことでした。



## 1月写真通信



**【写真の説明】** <左上から下へ> ◆鹿教湯温泉交流センターで、公益社団法人日本理学療法士協会・上田市・環境省が主催する「第4回温泉を活かした新しい健康づくりフォーラム」が開催された。◆上田駅と城下駅まで代行バス運転している時に別所線に乗ると「卒業生の皆さん」に心のこもったステキなメッセージが掲示されていました。◆陣場地研究委員会定期総会で披露された上田市功労者表彰状。  
 <真ん中上から> ◆武石地域総合センター開所式当日。上から武石小学校児童による金管バンド演奏 ◆美ヶ原飛龍太鼓のみなさんによる勇壮な演奏。◆総合センターの全景。<右上から下へ> ◆新庁舎への移転が決まり、この議場では最後となる一般質問。◆上田駅前でのモーニングスピーチ(後援会のみなさんと) ◆総務文教委員会が昨年からの調査・検討してきた「収納対策」について提言書がまとまり井上副市長に。